

テスト設計コンテスト OPEN クラス - ア

※全体でA4縦1ページに収まるように記述してください。

地域名

東京

チーム ID

S260716001

チーム名

TeamSync

チーム紹介

テスト設計コンテストに参加したい！と、手を挙げてくれたメンバーが集まって構成された混成チームになります。参加した目的はメンバーそれぞれで異なりますが、チームとして「より良いものを作ることを目標に、全員で連携、協力しながら進めて来ました！

コンセプト

「顧客が求めるもの」を理解し、実現できるテスト設計を目指す。

工夫点

顧客が何を求めているのか、何のために今回の改修を入れているのかといった背景を重視し、そのためにどのようなテストを行うべきなのか、どういった方針で行うのが良いのかを考え、顧客満足に向けて最大限有効となるテスト設計を追究しました。

以下は特に重視した点になります。

①メンバー全員の認識統一

今回のチームは別チームのメンバーが集まって構成された混成チームであり、人によってテスト設計方法も様々、それぞれが自由に作成してしまうと一貫性のないテスト設計となってしまうため、まずはマインドマップを作成しました。作成自体は各メンバーの稼働状況による影響で、全員で集まっての作成というのが難しく、個人単位での作成となりましたが、それに対し全員でレビューをしあうことで過不足を補うとともに、全員の認識を統一することが出来たと考えています。その他の成果物についても、個人作成とはなっているものの、時間が限られている中でお互いの作成した成果物をレビューしあうことで自身の成果物にも反映させるなど、作成者は違えど統一感のある成果物が作れるようにいたしました。

②プレゼンテーション資料による方針表現

上記で触れたように今回のテスト設計は1つの成果物に対して、1人が作成するといったように、個人作業となるものが多く、レビューを行う等して統一感を出来るだけ得ようとしていても、どうしても一貫性が取りづらいものとなってしまっていたため、プレゼンテーションにおいて、「どういう目標や方針をもって、どうしてこのテスト設計を行ったのか」を、簡潔に、わかりやすく表現することで、納得感の得やすいプレゼンテーション資料に出来るように作成いたしました。